

インフルエンザ予防接種 10/1(火)より予約受付中



毎年、冬から春はインフルエンザの流行シーズンです。予防接種を行うことでインフルエンザ発症の可能性を減らし、もし発症しても重症化を防ぎます。

○ 当院の予防接種期間は、【10月21日(月)～12月27日(金)まで】となります。ワクチン接種から実際に効果を発揮するまで2週間程度かかるため、お早めの接種をご検討ください。

■対象年齢：6か月～成人

■接種回数：6か月～12歳は2回、13歳以上は1回

■費用：4,000円(税込) ※市町村によって補助があります

また、免疫のはたらきが十分でない乳幼児や65歳以上の方、慢性の持病(呼吸器疾患、糖尿病、慢性心不全、肝炎や肝硬変などの慢性肝疾患など)をお持ちの方は、あわせて「肺炎球菌ワクチン」も接種するようにしましょう。ワクチン接種のご予約は、予約センター (TEL 04-7099-1111/8: 00～17: 00(日曜・祝日除く))まで。

【自動再来受付機】



バーコード付き予約票でも受付可能に

○ 亀田クリニックでは、5月より朝の混雑緩和のため、「自動再来受付機」(以下、受付機)を設置しておりますが、ID読み取り方法が、これまでの診察券に加え、バーコード付き予約票でも可能になりました。

診察券を読み込ませる代わりに、予約票左上に印字されたバーコードを受付機の右中央部の光にかざして読み取らせてください。受付機がバーコードを読み取ると、「ピッ」と音がしますので、その後は画面の指示に従って操作してください。

なお、クリニック受診時に診察券が不要になったわけではありせんので、診察券はこれまでどおりお持ちくださいますようお願いいたします。



自宅療養する患者さまの作品展

10月9日(水)より亀田クリニック1階にて、「第8回自宅で療養する患者さまの作品展」を開催いたします。

この作品展は、病気やケガで体が不自由になっても、家族の協力やヘルパーの支援などを受けながらひたむきに療養を続ける方々を応援しようと、地域医療支援部が2012年から取り組んでいる企画です。今年も患者さまよりすてきな作品を多数お預かりし、前半・後半の2回に分けて展示いたします(前半展示は11月11日(月)まで)。どうぞ外来受診の際はお立ち寄りください。



※昨年の作品展の様子

Kタワーロビーコンサート

鴨川市出身の音楽家によるコンサートを、10月19日(土)午後3時から亀田総合病院Kタワー1階ロビーにて開催いたします。

演奏してくださるのは、フリーのフルート奏者として活動する鷹松李奈氏と、小学校教諭の傍ら鴨川少年少女合唱団のピアニスト等を務める鈴木信太郎氏で、オペラ《魔笛》より(W.A.モーツァルト)、秋の唱歌メロデー、パプリカ(米津玄師)、You raise me up(R.ラヴランド)など幅広い世代の皆様にお楽しみいただける楽曲を演奏いただきます。ぜひ、ご来場ください。

がん就労支援講演会

10月19日(土)午後1時半～4時、亀田総合病院Kタワー13階ホライゾンホールを会場に、「がん就労支援講演会」を開催いたします。(定員50名、参加費無料)

「がんと診断されても働き続けるために」をテーマに、当院の塚田麻実薬剤師が抗がん剤治療の副作用と上手な付き合い方について、特定社会保険労務士の宮沢佳子先生からはがんになっても自分らしく働き続けるために必要なお金や法律についてご講演いただきます。

当日参加も歓迎いたしますが、人数把握のため参加を希望される方は10月15日(火)までに氏名と連絡先を添えて下記までお申し込みください。



【申込方法】：電話またはFAXにてお申込みください
亀田総合病院 がん拠点病院推進センター
TEL：04-7099-1230 / FAX：04-7099-1231



「百日せき含有ワクチンの追加接種について」

今年6月～8月に、南房総で起きた百日せき集団発生を受け、亀田クリニック・亀田ファミリークリニック館山・安房地域医療センターでは、就学前(5～6歳)の百日せき含有ワクチン追加接種(5回目)を推奨しています。

百日せきとは？

百日せきは、長い間続く咳発作を特徴とする呼吸器感染症で、どの年齢でもかかる可能性がある病気です。免疫力の不十分な乳児(特に生後6ヶ月未満)がかかると重症化する危険があり、乳児の周りの大人や兄弟が、免疫をつけておくことがとても大切です。

百日せきの主な症状と経過

- ・風邪症状からだんだんと咳が増える
 - ・発作的に短い咳が連続(特に小児)し顔が真っ赤、嘔吐、吸気でキューッと音を立てるなど
 - ・徐々に咳発作の回数が減り、2～3ヶ月で回復
- ※年長児以降は、典型的な症状以外を示すこともあります

日本の小・中学生は、百日せきにかかりやすくなっています

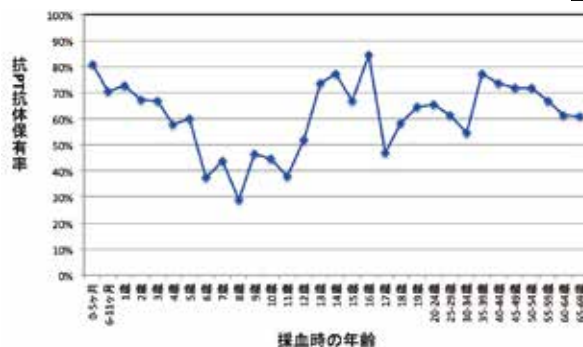
日本では1981年に三種混合ワクチン(ジフテリア・百日せき・破傷風トキソイド)が導入され、現在、ポリオも含む四種混合ワクチンが定期接種となっています。現在の予防接種制度では、0～1歳で四種混合ワクチンを合計4回接種し、11～12歳でDT(ジフテリア・破傷風)ワクチンを接種するスケジュールになっています(表1)。

表1

	乳幼児期 (初回+追加)	4歳以降	合計接種回数
日本	3回+1回	なし(二種のみ)	4回(3+1+0)
フランス・英国	3回+0回	5～6歳	4回(3+0+1)
オーストラリア	3回+0回	4～8歳、15歳	5回(3+0+2)
ドイツ	3回+1回	5～6歳、成人	6回(3+1+2)
米国・カナダ	3回+1回	4～6歳、11～16歳	6回(3+1+2)

しかし、最近の調査では、小中学校などで集団感染や大人の感染が目立ち、ワクチンを4回接種済みの小児でも発症しており、接種後数年で抗体価(免疫力)が低下することがわかっています(図1)。事実、2018年に百日せきに感染した人の6割以上が5～15歳の小・中学生でした。

図1



そうした現状を受け、日本小児科学会や日本プライマリ・ケア連合学会では、百日せきに対する免疫を高めることを目的に諸外国でも行われているよう、小学生になる前のタイミングでのワクチンの追加接種(5回目)を推奨しています。百日咳含有ワクチンの追加接種を希望される方は、下記までお問い合わせください。

- ・亀田クリニック 感染症科外来 (代表:04-7099-1111)
- ・安房地域医療センター 小児科外来 (代表:0470-25-5111)
- ・亀田ファミリークリニック館山 (代表:0470-20-5511)

・使用ワクチン／トリビック®

(ジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン)

- ・対象者／**就学前の5～6歳児**：MR(麻疹・風疹)ワクチンとの同時接種がオススメです

11～12歳：定期接種のDT(ジフテリア・破傷風)ワクチンの代わりに接種が可能です

※その他の小児、成人も接種が可能ですので、ご相談ください

- ・価 格／6,120円(税込)

※任意接種のため自己負担となります

- ・注意点／百日咳含有ワクチン(四種混合・三種混合)の最終接種から6ヶ月以上空いている必要があります。

【参考となるWebページ】

日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール 2018年8月1日版
http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/vaccine_schedule.pdf

こどもとおとなのワクチンサイト

(日本プライマリ・ケア連合学会 ワクチンチーム)

https://www.vaccine4all.jp/shared/files/vaccine_A4_0_19.pdf

医師紹介

たかだ しゅんや
高田 瞬也 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



①消化器外科

②外科

③医学、料理

④全身全霊で診療に当たります。お気軽にお声がけ下さい



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>